



滋賀県議会議員

# 奥村よしまさ 県政レポート

Vol.50  
令和元年11月発行

Okumura Yoshimasa Kensei Report



## 治水対策の重要性ますます浮き彫りに!

先月に本州を直撃した台風19号では、1都12県に大雨特別警報が出され、各地に大変な被害をもたらしました。災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げ、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。今回、滋賀県は直撃こそ免れましたが、今後もっと大きな台風が直撃しないという保証はありません。県議会でも、防災対策に関する事案は、これまで以上に迅速にしっかりと進める必要があると思っています。

さて、これまで議会活動の一環として、市民の皆さんに向けて発信してまいりましたこの県政レポートも、今号で記念すべき50号を迎えました。継続は力なりと申しますが、まさに皆さんと共に歩ませていただき、お力をいただいたからこそ感謝いたしております。今後も、さらに精進し、引き続き報告ができればと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

滋賀県議会9月定例会議にて次の質問を行いましたので、内容を要約してご報告させていただきます。(令和元年9月30日一般質問より)

### 本県におけるICT活用によるペーパーレス化の推進について

スマホの普及や話題の5Gなど、ICT(情報通信技術)の進展は社会の変革に大きく関わっています。本県でも「滋賀県ICT推進戦略」を進行中ですが、県の業務では、まだまだ紙媒体に頼っているのが現実です。(平成30年度の用紙購入量は、約1億4,600万枚、用紙購入金額は、約7,100万円)私は、自民党会派の代表ということもありますが、複数の会議において、同じような300ページにもおよぶ資料が配られ、すぐに机の上が埋まってしまう。また、職員の皆さんの準備の手間も、馬鹿にならないと思います。

そこで、業務の効率化、省力化の観点から本県にペーパーレス化を導入した場合の効果について、総務部長に伺います。

<総務部長の回答>

資料の印刷や差替えにかかる手間の省力化、様々なものが電子化されることによる情報の検索性の向上、情報伝達の即時化、書類保管スペースの削減などが期待される他、在宅勤務やサテライトオフィス勤務といった多様な働き方の促進など健康経営の実践にも資するものと認識しております。

しかし、ICTの導入については、トラブル時の影響が瞬時に広範囲に及ぶ、情報漏洩や改ざんの恐れが高まる、利用には一定のスキルが求められるなどデメリットもあります。それらを踏まえた上で、今後の県庁におけるICT活用によるペーパーレス化の推進の方針について、知事に伺います。

<知事の回答>

「滋賀県行政経営方針2019」において、行政運営を効率化し、生産性の向上を図るため、全庁的なペーパーレス化の推進を位置付けております。今後は、一部の共通事務端末のモバイル化、全庁の執務室の無線LAN整備など、デメリットを改善しながら、積極的にペーパーレス化に向けた取組を推進してまいりたいと思います。また、議会におきましても、大量の紙を使用し説明させていただいておりますが、執行部といたしても、議会と歩調をあわせ、一緒になって取組を進めてまいりたいと思います。

ICTの導入は初期コストが大きく、県議会は予算提案権を持っていませんので、県議会もICT活用でペーパーレス化を進めると声高に言えないものの、個人的には、知事にご協力させていただくことはやぶさかではありません。ぜひ一緒にやりましょう!



### 県基本構想における経済の目指す姿の実現について

本県は、これまで内陸工業県として、様々な分野の産業が集積してきたことから、県内総生産に占める第二次産業の割合は2015年度において45.2%で全国1位となっています。一方で、生産年齢人口が確実に減少していくなかで、事業承継や人材育成は長期的な視野に立って戦略的に行っていくなくてはなりません。基本構想では、「都市部の企業の高度人材が県内企業に就職し、または、県内企業との間での兼業・副業を行う等、新たな人材のつながりも生まれています。」と目指す姿を描いていますが、これを実現するためにどのような取り組みをしているのか伺います。

<商工観光労働部長の回答>

滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、企業の中核的人材の採用を支援しております。H27年末開設当初～H30年度末までで、203件の採用(うち県外採用は108件)となっております。また、セミナー、企業交流会、県外マッチング会等を開催しております。兼業や副業等については、制度導入の状況や課題等について大企業等への聴き取りを行っております。

実践的技術者を養成する高等教育機関として、高等専門学校、いわゆる「高専」があります。まさしく本県産業の高度化を担う人材を育成する機関の一つと思われませんが、本県には残念ながらありません。国立の誘致や、県立での設置検討、現存する高専との連携も含めた県の高専に対する今後の考え方について伺います。

<知事の回答>

これまでから、県内経済団体等からご要望をいただいていることも受けて、9月24日に庁内に「高等専門人材育成機関検討会」を立ち上げまして、高度な専門分野の人材育成のあり方について、情報収集や課題整理を行うことといたしました。こうした人材育成に向けては、高等専門学校の他、既存の高等学校や職業能力開発施設の活用、県立大学との連携・接続など、様々な選択肢があると考えており、産業界など関係者のお声もお聞きしながら、幅広く検討してまいりたいと考えております。

全国有数の工業県の本県にあって、高度な専門分野の人材は貴重な地域の担い手であり、守り手です。今頃「高等専門人材育成機関検討会」を設置し情報収集しているようでは少々遅い気もしますが、よほどしっかり企業、大学、教育委員会と滋賀県の高度人材育成のビジョンを共有して進める必要があると思います!



滋賀県議会議員  
環境・農水常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員  
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会対策特別委員会 委員

自民党滋賀県支部連合会  
幹事長

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077-562-4841

# 奥村 芳正

活動日記毎日更新中!

<http://www.genki-shiga.jp>

facebookも  
チェック! →

奥村 芳正

携帯でも  
発信して  
います! →



## 本県における内部統制制度の導入について

 2月定例会議において、県有施設における計量法違反事案について、緊急質問が行われましたが、それ以降の半年間でも、不適切な事務処理の事案が多く報告されています。私も執行部の皆さんから報告を受ける度に、またかと思い、最近はあきれつつもあります。こう度重なると、組織体制に問題があると思わざるを得ません。(平成30年度知事部局公表の不適切な事務処理事案は36件、今年度は4月から9月の間ですでに26件) 不適切な事務処理を減らすために、現時点で本県にどのような制度の導入をされようとしているのか伺います。

### <知事の回答>

県民サービスの更なる向上のためには、事務の適正性を確保し、不適切な事務処理を減らすことが重要であると認識しています。今般、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別および分類し、対応策を講じることにより、不適切な事務処理の発生を未然に防止する、内部統制制度を導入することといたしまして、現在、来年度からの導入に向けた準備を進めております。制度の導入後、運用の段階におきましては、内部統制にかかる全庁的な体制と業務レベルの評価を行い、評価報告書を提出する予定です。

 人の行うことなので、多少のミスはやむを得ないとは思いますが、お金も手間もかけてこの制度を実施するからにはミスを大幅に減らさなくては意味がありません。国のガイドラインでは、「内部統制が有効に機能するためには、首長の意識が最も重要」とされています。「法律で定められたので形だけこの制度をつくりました」では、ミスは今後も減らないと思いますが、今回の制度の実効性をどのように確保されようとしているのか、知事に伺います。

### <知事の回答>

不適切な事案を完全に無くすことはできないとは思いますが、予めリスクがあることを前提としながら適正に業務を執行する組織となるよう、取り組んでいく必要があります。知事から言われて、議会から言われて、県民の皆様から指摘されてやるのではなく、日常的に組織の中で個々の職員と一緒に考えて取り組んでいけるような組織風土・体制を作っていくことが大切で、責任をしっかりと持てと言われている知事が先頭に立って取り組んでまいりたいと思います。

**事務の適正性を確保するためには、知事の統率のもと、職員一人ひとりの意識、モチベーションを向上させていくことが重要です!**



## 来年国体開催の鹿児島県を視察してきました。

長年国民行事として親しまれてきた国民体育大会(国体)は、2023年から国民スポーツ大会(国スポ)と改名され、2024年には滋賀県での開催が決まっています。これを受けて、今年10月には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会対策特別委員会のメンバーにより、来年2020年開催の鹿児島県を訪れ、メイン会場となる鹿児島市の白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)や鴨池公園水泳プール等の施設見学を含む現地視察を行いました。

5年後に滋賀県での開催を控えていることを踏まえ、対応していただいた市の担当者に「5年前にやっておけば良かったことは?」と質問を投げたところ、「小学生高学年~中学生のジュニア世代の選手の育成」という答えが返ってきたのが、とても印象的でした。「5年後の戦力」を「今から」ということです。

滋賀県は主会場となる競技場の入札不落という問題等、課題も多くありますが、今回の視察も活かしながら、しっかり準備を進めていきたいと思えます。



## 令和元年 秋の叙勲 / 第33回 危険業務従事者叙勲

秋の叙勲および警察、消防、防衛、矯正などの危険業務に長年従事し、社会貢献された方々が対象となる危険業務従事者の受章者が発表されました。受章された皆様の長年にわたるご活躍に心より感謝申し上げます。

【草津市から受章された方々】

旭日中綬章	金融業功労	大道 良夫
旭日双光章	産業振興功労	伊藤 定雄
旭日単光章	地方自治功労	松村 幸子
瑞宝中綬章	検察事務功労	川那部 善夫
瑞宝小綬章	地方自治功労	上原 任
瑞宝小綬章	郵政事業功労	小川 忠久
瑞宝双光章	教育功労	馬場 輝代
瑞宝双光章	警察功労	蔦浦 優

<敬称略>

## 草津市市政功労者表彰

多年にわたって市の政治、経済、文化、社会その他各分野において市政の振興に貢献いただいた方、また市民の模範と認められる行為をされた方々が表彰されています。皆様のこれまでのご功労に心より感謝申し上げます。

自治功労	社会功労	
公平委員会委員として	社会福祉の向上	教育の振興
伊勢村 恭司	喜田 久子	山本 千鶴代
固定資産評価審査委員会委員として	北村 貞子	体育の振興
佐藤 有信	川原いきいきの会	上田 秀樹
まちづくり協議会会長として	ぼちぼちの会駒井沢	下山 元明
卯田 正明	手話サークルびわ湖	東出 昇
川瀬 善行	保健衛生の向上	田部 文子
川那邊 孝六	伊庭 徹也	文化の振興
町内会長として	小林 友也	片岡町サンヤレ踊り保存会
島本 幸太郎	遠藤 衛	三大神社サンヤレ踊り保存会
鈴村 稔	青少年の健全育成	志那神社例大祭実行委員会
消防団員として	井上 茂和	志那中町サンヤレ踊り保存会
杉江 佳和	清水 昭博	下笠町参弥礼踊り保存会
杉江 喜博	中地 耕一	長束町祭保存会
長束 一成	松尾 数明	矢倉居住組
審議会委員として	山岡 順子	
石丸 正運		

<敬称略>

## 奥村よしまさ県政報告会を開催します

2020年(令和2年) 1月18日(土)  
11:00~ クサツエストピアホテルにて

詳しくは近日ご案内いたします。

ゲスト多数  
来場予定!

11月3日の表彰式には私も出席させていただき、これまでのご功労に心から敬意と感謝の意を表したいと思います。

